

2017年度 活動報告

2018年8月23日(木)

**於:オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
会議室**

INDEX

 **2017年度 運営組織**

 **会員状況**

 **活動実績サマリ**

 **活動状況サマリ**



2017年度 運営組織

会長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 小田切 耕司
副会長	株式会社オージス総研 八幡 孝
理事	SRA OSS, Inc. 日本支社 稲葉 香理
監事	TIS株式会社 溝口 則行
事務局長	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 寺井 亜貴子
事務局	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 担当: 寺井 亜貴子 TEL: 03-6417-0753 Email: info@OpenAM.jp

◆ 会員状況

▼ 正会員企業

14社

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社インテック
SRA OSS, Inc. 日本支社
株式会社オージス総研
オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
株式会社キューブテック
サイバーコム株式会社

チエル株式会社
TIS株式会社
東芝デジタルソリューションズ株式会社
株式会社野村総合研究所
富士通株式会社
株式会社ブロードリーフ
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

▼ 一般会員

8社

アルファテック・ソリューションズ株式会社
株式会社エスシーシー
株式会社EvangTech
かもめエンジニアリング株式会社

有限会社グリーンフラグ
株式会社コネクティブ
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー
テニック株式会社

▼ 退会

なし

活動実績サマリ

活動	時期	詳細
Webサイト	通年	
プレスリリース配信	2018年7月	「OpenAMコンソーシアムがソースコードを公開し、共同開発を開始」
事例、製品・ソリューション情報	2012年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員企業の事例、製品・ソリューション情報を掲載 ・掲載情報は随時募集
技術Tips 掲載	2017年5月	2017年5月12日:Apache Agent2.4とWeb Policy Agentの設定手順(オージス総研)
独自セミナー		各社資料配布、アンケート
第7回OpenAMコンソーシアムビジネスセミナー	2015年7月17日	定員90名規模 品川インターシティホール棟 地下1F 会議室1+2で開催 85名申込、66名来場(歩留り:77.6%) アンケート回収数:46枚
第8回OpenAMコンソーシアム技術セミナー	2016年2月23日	定員90名規模 五反田・アリアル会議室ANNEX 2F で開催 76名申込、59名来場(歩留り:77.6%) アンケート回収数:46枚
ワーキンググループ		
合同ワーキンググループ	2015年11月18日	【目的】 会員間の情報交換、OpenAMコンソーシアムセミナー講演者、講演内容の検討、技術Tipsコンテンツの見直し 【活動実績】 講演企業、事例の決定、セミナー開催

活動状況サマリ

▼ 2018年7月

7月9日プレスリリース **OpenAMコンソーシアムがソースコードを公開し、共同開発を開始**
https://www.openam.jp/operation/operation_2018/2018-7-9newsrelease.html



7/9プレスリリース詳細

NEWS Release
報道関係者各位

2018年7月9日
OpenAM コンソーシアム

OpenAM コンソーシアムがソースコードを公開し、共同開発を開始

～オープンソースのシングルサインオンソフトウェア OpenAM の開発を継続～

OpenAM コンソーシアム（会長：オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 小田切 耕司）は、オープンソースのシングルサインオン・ソフトウェアである「OpenAM」の開発を継続・強化するためにソースコードを公開し、共同開発を始めたことを発表します。

2010年から活動している OpenAM コンソーシアムは、OpenAM の維持・発展、普及のため、コンソーシアム会員企業を中心にさまざまな情報交換・発信を行ってまいりました。

OpenAM は企業・団体の認証プラットフォームとしてすでに多数の導入事例があり、今後のデジタルビジネスの拡大に合わせて、その重要性は変わりないと考えられます。

このような背景のもと、OpenAM コンソーシアムは OpenAM を利用する日本国内ユーザーが安心して利用できる環境を提供する事といたしました。

OpenAM を利用している企業同士で脆弱性対策や機能拡張を共同で行えるようにするため、ソースコードを共有し、一般公開することとし、まずは OpenAM ベースの商用製品を保有しているオープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社と株式会社オーヂス総研のソースコードをマージすべく作業を開始しました。

OpenAM コンソーシアムは、今後ともユーザーが安心して OpenAM 利用できるよう、ソフトウェア開発、広報・啓蒙活動を実施してまいります

※) 参考

■OpenAM とは

旧サンマイクロシステムズ社が開発し、オープンソースとして公開していたシングルサインオンを実現する認証基盤ソフトウェア OpenSSO が、OpenAM と名前を変えて開発が継続されています。

■OpenAM コンソーシアムとは

ユーザーが安心して OpenSSO 及び OpenAM を利用できるよう情報公開や広報活動を行っています。

■OpenAM コンソーシアム Web サイト

<http://www.OpenAM.jp/>

ソースコード利用方法などの技術情報は、ここに掲載します。

■OpenAM ソースコード公開 Web サイト

<https://github.com/openam-jp/>

■コンソーシアム役員

会長：小田切耕司（オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社）

副会長：八幡 孝（株式会社オーヂス総研）

理事：稲葉 香織（SRA OSS Inc.）

■コンソーシアム参加企業

以下をご覧ください。

<https://www.openam.jp/about>

■問い合わせ

OpenAM コンソーシアム事務局：info@openam.jp

※本文中の会社名および製品名は、各社の登録商標、または商標です。

https://www.weeklybcn.com/journal/news/detail/20180709_163195.html

OpenAMコンソーシアム、「OpenAM」のソースコードを公開し共同開発を開始

ニュース

2018/07/09 12:29

ツイート

いいね!

シェア 3

後で読む

東京都

関東地方

OpenAMコンソーシアム（小田切耕司会長）は7月9日、オープンソースのシングルサインオン・ソフトウェアである「OpenAM」の開発を継続・強化するためにソースコードを公開し、共同開発を開始したと発表した。

10年から活動しているOpenAMコンソーシアムは、OpenAMの維持・発展、普及のため、コンソーシアム会員企業を中心にさまざまな情報交換・発信を行ってきた。すでに企業・団体の認証プラットフォームとして、多数導入事例があり、今後のデジタルビジネスの拡大に合わせて、その重要性は変わらないものと考えられる。こうした背景のもと、今回、OpenAMコンソーシアムでは、OpenAMを利用する日本国内ユーザーが安心して利用できる環境を提供する。具体的には、OpenAMを利用している企業同士でぜい弱性対策や機能拡張を共同で行えるようにするため、ソースコードを共有し、一般公開する。まずは、OpenAMベースの商用製品を保有しているオープンソース・ソリューション・テクノロジーと、オージャス総研のソースコードをマージするため作業を開始した。

OpenAMコンソーシアムでは、今後もユーザーが安心してOpenAMを利用できるよう、ソフトウェア開発、広報・啓発活動を実施していく考え。

The banner features a blue background with a 3D globe on the right side, overlaid with several curved, metallic-looking lines that suggest a globe or a network. The text 'OpenAM' is in a bold, sans-serif font, and 'コンソーシアム' is in a bold, sans-serif font below it.

OpenAM
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>